



**Hinemos クラウド仮想化オプション ve
r5.0
リリースノート**

目次

1	リリース 5.0.b	3
1.1	機能追加	3
1.2	機能改善	3
1.3	仕様変更	3
1.4	不具合改修	3

Hinemosは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の2004年度下期オープンソースソフトウェア活用基盤整備事業の委託を受けて開発しました。テーマ名は「分散ファシリティ統合マネージャの開発」です。

<http://www.ipa.go.jp/software/open/2004/result.html>

1 リリース 5.0.b

1.1 機能追加

- #3123 【Azure】 Microsoft Azureへのコミュニティ版対応
Microsoft Azureに対応したコミュニティ版をリリースした。

1.2 機能改善

- #3122 【共通】 自動検知されたノードの説明内容の修正
RegisterやRegistと表記ゆれがあるため、Registeredに統一した。

1.3 仕様変更

なし

1.4 不具合改修

- #3096 【共通】 facility_idのカラム型が本体と統一されていない
facility_idを格納するカラムが本体のvarchar(512)と異なる不具合を修正した。
- #3106 【共通】 javaが含まれていないjarファイルが存在する
プラットフォーム固有のjarファイル内にjavaファイルが含まれていない不具合を修正した。
- #3107 【共通】 ミッションクリティカルオプションとファイル構成が競合する
ミッションクリティカルオプションとディレクトリ・ファイルが競合する不具合を修正した。
- #3110 【共通】 rpmの再インストール時にエラーとなる
クラウド仮想化オプションをアンインストールした後、再度インストールすると、PostgreSQLに関するエラーメッセージが出力される不具合を修正した。
- #3114 【共通】 クラウドスコープ一覧表示が最新化されない
追加されたクラウドスコープが一覧に表示されないことがある不具合を修正した。
- #3115 【共通】 本体のws.client.addressに異なるパラメータ名が付与されている
Hinemosプロパティws.client.addressに異なるパラメータ名common.ws.addressが付与されている不具合を修正した。
- #3116 【共通】 ロケーション配下に何も存在しない場合、エラーメッセージがログに出力される
ロケーション配下に何も存在しない場合、エラーメッセージ(org.postgresql.util.PSQLException: ERROR: syntax error at or near ")") がログに出力される不具合を修正した。
- #3058 【AWS】 リッチクライアントインストール後にクラウド関連の操作ができない
クラウド仮想化(AWSコミュニティ版)のリッチクライアントで、クラウド関連の操作を行なおうとしても実行できない不具合を修正した。
- #3117 【AWS】 en_aws_ebs_metrics.sqlにてエラーとなる
インストール時にen_aws_ebs_metrics.sql:131にてエラーとなる不具合を修正した。

Hinemos クラウド仮想化オプション リリースノート

非売品

- 禁無断複製
- 禁無断転載
- 禁無断再配布

Hinemosは（株）NTTデータの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTM、Rマークは表記しておりません。